

令和4年
2月号

Kashiwara
No. 214
市議会だより

令和3年第4回定例会の概要

令和3年第4回定例会は、11月29日から12月23日までの25日間の会期で開催し、市長提出議案及び議員提出議案の計16件を審議しました。(提出議案の一覧は8ページに掲載)

令和3年度 補正予算(抜粋)

子育て世帯 臨時特別給付金給付事業 9億6,746万1千円

コロナ禍の影響を受けている子育て世帯(0～18歳までの児童を養育)で、一定の所得要件基準を満たす場合、児童1人当たり10万円を支給するもの。



学校給食費補助事業 6,220万9千円

市立小・中学校に通う子どものいる保護者への経済的支援として、令和4年1月から3月までの学校給食費3か月分を全額補助するもの。



議案・一般に対する質疑質問から

問 新型コロナウイルスワクチンの追加接種はどのように行うのか。

答 1・2回目と同様に、個別及び集団接種の両方で進める。また、今回の追加接種は、2回目の摂取終了日から原則8カ月以上経過した18歳以上の方が対象者で、順次接種券を発送する予定である。

問 1・2回目と異なるメーカーのワクチンを使用することの安全性と市民への周知を問う。

答 米国の研究では、交互接種での抗体価の上昇は良好であり、副反応については、1・2回目接種で報告されたものと同



要望 副反応に関する周知も含め、今回の追加接種においても、速やかに準備態勢を整え進めていただくよう要望する。



乾 一

新型コロナウイルスの追加接種について



要望 市立図書館は、地域の住民の生活に寄り添

問 多様化する市民ニーズに応じた市立図書館のあり方を問う。

答 にぎわいの創出や地域活性化の観点、また市民が憩い、それぞれの時間を過ごす「居場所」として機能することも市立図書館の役割の一つと考えている。そのため放

問 市民の「居場所」となる図書館運営を



田中 秀昭

市民の「居場所」となる図書館運営を



柏原市立国分図書館

要望 う施設であるべきと考え。そのため、今後市立図書館のあり方を検討するにあたっては、市民や職員から幅広く意見を集め、市の人口に見合う規模において、市民の「居場所づくり」を意識した図書館運営ができるよう要望する。

議案・一般に対する質疑質問から

問 野良猫殺処分ゼロに向けた「さくらねこ無料不妊手術チケット利用制度」について、地域の回覧板で周知されたが、趣旨がわからないという声が多く届いている。「地域猫」「TNR」とは何かという周知ができていないと思われるが、今後の周知方法を問う。

答 毎年9月の動物愛護週間に合わせて、広報に周知記事を掲載する。また、チケット申請される町会等に対し、啓発用ポスターの掲示をお願いする。

要望 回覧板やポスターを見ただけでは、活動の意図が伝わりにくいので、



積極的に広報等での周知をお願いしたい。また、子ども達が命の大切さを学べる機会を設けるなど、大人から子どもまで、地域の皆様の理解のもと、継続的・効果的なTNR活動に取り組み、住みよいまちづくりを前進させることを強く要望する。



梅原 壽恵

地域猫活動
(TNR活動)の
周知について



問 恩智川多目的遊水地の上面整備のスケジュールと内容について問う。

答 大阪府との協定に基づき、その一部を市立堅下北スポーツ広場として利用しているが、当該施設西側区域において、現在も、府による遊水機能の整備が進められている。この整備は、令和6年に完了する予定で、府との協議で上面利用が可能となれば、「スポーツと緑と安らぎのある公園の複合施設」として、整備内容等を調整してまいりたい。

要望 現在の堅下北スポーツ広場を含めた恩智



恩智川多目的遊水地の上面を利用した堅下北スポーツ広場

川多目的遊水地の全体像のプランを描き、上面利用が可能となった際には、市民が楽しめるスポーツ施設の設置や憩いの場としての機能を発揮できるよう、市民の皆様の意見等も踏まえ、様々な角度から検討していくことを要望する。



峯 弘之

恩智川多目的遊水地の
上面整備について



問 小中学校体育館の空調設備設置について、令和4年度末までに中学校4校で完了予定であり、残る中学校2校と全小学校9校においても迅速に取り組んでいくべきだと思うが、市の考えを問う。

答 第5次柏原市総合計画のとおり、令和7年度までに中学校全校は達成見込みである。小学校においても、市立小・中学校適正規模適正配置基本方針や財政面、工事内容等を踏まえ、令和7年度までの完了を目標の一つとして検討していきたい。

要望 学校体育館の空調設備設置により、教育



学校体育館の空調設備

環境の充実を図ることができ、さらに、災害時の地域の避難所として機能が向上する。令和7年度末が期限となる、市の財政に有利な「緊急防災・減災事業債」を活用し、全ての小学校体育館に空調設備を設置できるよう取組を進められたい。



奥山 渉

全ての学校体育館に
空調設備設置を





山本 修広

災害時の電力供給に
EV車の活用を



問 市と民間事業者との災害協定について問う。

答 大規模災害に備えて、物資支援や、災害廃棄物一時集積用敷地の一時利用等の内容で、民間事業者との間に約40件の協定を締結している。

問 近年、電気自動車

の派遣に関する協定を結ぶ自治体が増えているが、市の考えを問う。

答 避難所に発電機は配備しているが、電力量増強のために電気自動車を活用することは有効と考える。現在、協定締結を視野に入れ検討している。

要望 避難所に電気自動車

を配備することで、



使用可能な電力量を増強することができ、避難者が使用するスマホなどの電子機器の充電対応にも有効だと考える。今後、

公用車を計画的に電気自動車へ入れ替え、災害時に、避難所での停電等の問題に対処できるよう検討することを要望する。



江村 淳

市内循環バス
(きらめき号)の
充実を



問 市内循環バスの運行目的と運行状況を問う。

答 高齢者や障がい者を初めとする市民の社会参加や自立促進を図り、健康で文化的な生活に寄与することを目的とし、平成10年10月から民間バス撤退による代替バスとしてスタートした。現在は朝6時30分から夜7時の間、計5台のバスで運行しており、昨年度のコロナ禍でも延べ約15万8千人の利用があった。

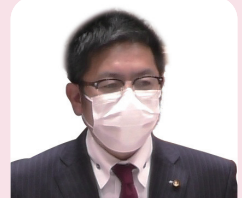
要望 市内循環バスは、高齢者や障がい者の方を中心に市民の利用に供し、名実ともに「市民の足」となっている。高齢



市内循環バス (きらめき号)

化による免許証の返納等を背景に、市民が市内循環バスに寄せる期待は高まっており、「坂の上まで来て欲しい」、「土日祝の運行を」といったコー

ス変更や増便を望む切実な声が多くあるので、今後、運行体制の充実に取り組まれるよう要望する。



榊田 和之

市内の交通安全施設の
整備状況について



問 市内の交通安全施設の整備状況について問う。

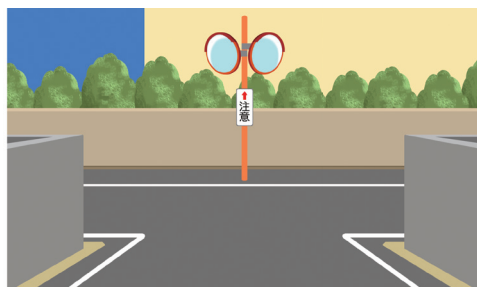
答 転落防止柵、ガードレール、カーブミラー、路面標示等の設置、また、通学路の安全対策としてグリーンベルトや交差点カラー化を実施している。

問 カーブミラーの角度

が合っていない箇所があるが、設置状況と設置後のメンテナンスを問う。

答 カーブミラーは、見通しの悪いカーブや交差点約1500箇所に設置しており、職員による定期的な目視点検や市民からの情報提供により適時改善をしている。

要望 大事故が起きた



場合、その直後は気をつけるが、記憶は時間の経過とともに薄れていく。同様の事故が起きないよう、事故を風化させずに対策を講じる必要がある。

市民の安全・安心を守るために交通安全施設の設置、維持管理や舗装路面の点検の強化を要望する。

議案・一般に対する質疑質問から



大木 留美

歴史散策のための
おもてなし環境の
整備を



問 おもてなし環境整備

として、日本遺産「龍田
古道・亀の瀬」推進協議

会におけるボランティア
ガイド育成の取組を問う。

答 昨年度は公式ガイド

マニュアルを作成し、今
年度はガイド募集・育成

研修の実施に取り組んで
いる。現在64名の研修受

講登録があり、来年度末
までに合計12回研修を実

施予定である。

問 日本遺産の他にも市

内には文化財が多数存在
するが、来訪者がそれら

に親しめる取組について
市の考えを問う。

答 日本遺産に関連付

けて散策等ができるよう、

文化遺産の説明板を設置

する等、活用方法の検討
を進めてまいりたい。

要望 ガイド育成に加

え、音声やVRを活用し
た有償の観光案内機器の

導入も模索し、歴史あふ
れる柏原市の魅力を国内

外に宣揚できるよう取り
組まれることを要望する。



鶴田 将良

若手の消防団員確保と、
地域防災力強化を



問 消防団員のなり手不

足を背景に、報酬増額等
の処遇改善は必要な取組

だが、団員定年を62歳か
ら70歳に引き上げる改正

は、若い世代の入団機会
の阻害につながるのか。

答 定年延長は、体力と

意欲がある場合に引き続
き活躍できる環境を整え

るものであり、また、近
年は団員定員140人を下回

る状況が続いているため、
若い世代の入団を妨げる

ものではないと考える。

要望 消防団の組織維

持と活性化のために、若
手からベテランまで幅広

い年代層が在籍し活動す
ることで、消防技術や知

識が継承できる体制づく

りを期待する。また、今
後は、消防団OBによる

分団の創設、市内大学と
の防災に関する取組や自

衛消防隊を組織する企業
との協定締結等を、消防

団活動と連携することで、

地域防災力の強化につな
げる取組を進められたい。



山口 由華

まちづくりの
ビジョンの実現を
目指して



問 柏原市の都市計画に

おけるビジョンを問う。

答 長期的ビジョンと

しての国道25号大阪柏原
バイパスの整備構想、中

期的ビジョンとしての西

名阪自動車道スマートIC
の整備構想、さらに、柏

原駅東地区まちづくり構
想の3つのビジョンによ

り、渋滞緩和や防災性向
上、企業活動活性化、観

光集客等を図り、まちづ
くりを進めていきたい。

問 構想を進めるための

組織横断的な連携を問う。

答 各ビジョンを都市計

画マスタープランに位置
づけることを検討してい



JR 柏原駅東地区（柏原東小学校3階から撮影）

し、作業を進めている。

要望 長年の道路整備

の諸課題を解決するため
に、庁内部署間はもとよ

り、国・府との連携も図つ
た上で取り組む必要があ

る。将来の柏原市におけ

るまちづくりのビジョン
をしっかりと定め、実現

に向けて尽力されたい。



大坪 教孝

健康寿命を
のばそう



問 フレイル予防の取組について問う。

答 予防が必要な方には、地域サロンを紹介し、口腔ケアの指導や体操の指導を行っている。

問 健康寿命をどうのばすのかを問う。

答 柏原市の健康寿命は男性79歳、女性84歳であり、食生活・栄養・運動・

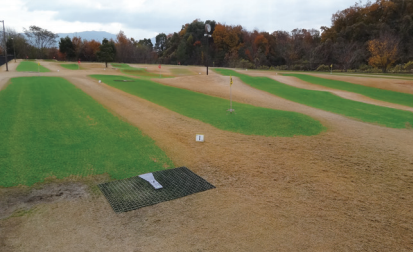
病気の予防に取り組み、がん検診や健康診査の受診勧奨などを行っている。

問 認知症予防の取組について問う。

答 外出機会の創出、人との会話が認知症予防になると考え、各種教室等を開催し、外での居場所

づくりを行っている。

要望 難聴で外出を控えるようになるので、補聴器購入の補助制度創設を要望する。また健康づくりには、運動が効果的であるため、誰でもいつでも、気軽にやりたい時に出来るスポーツ施設の建設を要望する。



羽曳野市のグラウンドゴルフ場

フレイル…加齢により、心身の機能が衰えた状態のこと。



中村 保治

「柏原市防災の日」の
制定を！



問 防災リーダー育成について問う。

答 各地区の自主防災訓練や地区防災リーダー講習会等により、地域防災力向上に努めている。

問 地域防災力の強化には、中高生等の若者の参加が必要不可欠であると考えますが、市長の見解は。

答 将来の地域防災を担う人材育成のため、防災教育を推進し、地域や学校で、防災リーダーを育てる環境づくりに取り組んでまいりたい。

要望 年に一度、地域での実践型訓練を行う「柏原市防災の日」の制定を以前から提案してきたが、

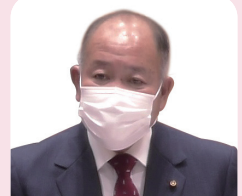


それに向けた取組の一つとして、防災教育の年間カリキュラムにジュニア防災リーダー育成を組み入れるなど、幅広い年齢層において防災意識を醸成することで、市全体の防災力が強化されると考えるので、研究し、実行できるように強く要望する。

問 来年1月から3月まで学校給食費を無料化する補正予算を計上することになった経過を問う。

答 コロナ禍における保護者負担軽減の検討を重ね、国の交付金の活用を想定し、補正予算を計上することになった。

要望 6月及び10月議会で、子ども達の食を支え、保護者負担の軽減を図るために、今年度、給食費無料化を実施すべきだと要望した。10月議会では、近隣市において、東大阪市が4月から7月まで、八尾市が11月から翌3月まで、松原市及び羽曳野市が今年度無



橋本 満夫

給食費を無料に



料化している実態を示した。教育委員会の「研究する」という答弁に対し、研究して実行すべきであると訴えてきた。また、

市長の選挙公約は、段階的な学校給食費の無料化であった。今回、ようやく当該事業の実施が実現することに感謝する。



学校の給食

意見書の提出

令和3年第4回定例会にて、下記の意見書2件が全会一致で可決され、関係行政庁に送付しました。

女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた環境整備を求める意見書

1979年の国連総会において、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」（女子差別撤廃条約）が採択された。本条約では、「女子に対する差別」を定義し、条約締結国に対し、政治的及び公的活動、並びに経済的及び社会的活動における差別の撤廃のために適切な措置をとることを求めており、日本は1985年に批准している。

1999年には、本条約の実効性を確保するため、個人通報制度と調査制度を定める「女子差別撤廃条約選択議定書」が国連総会で採択された。これらの制度は、同条約で保障された人権を侵害された者が、裁判など国内の救済手続きを尽くしても解決に至らなかった場合に、条約機関（女子差別撤廃委員会）に申し立てができるもので、同機関はこれを受けて調査や審議を行い、必要に応じて締結国に対する勧告や見解を出すというしくみである。

2021年現在、条約締結国189か国中114か国がこの「選択議定書」を批准する中で、日本は未だ批准に至っていない。

また、男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数2021」において日本は156か国中120位、G7では昨年に引き続き最下位であり、我が国は世界的にもジェンダー平等の取組の強化が遅れているといえる。

よって、本市議会は国に対し、男女平等社会の実現のために、女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けて、国内の司法制度の課題等が早期に解決されるよう環境整備を進めることを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月23日

大阪府柏原市議会



衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、男女共同参画担当大臣

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

沖縄戦では、太平洋戦争末期に一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、多くの貴い命が失われた。糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられた24万1,632名の氏名が刻銘されている。

糸満市摩文仁を中心に広がる南部地域は、戦争の悲惨さや命の貴さを認識し、戦没者の霊を慰めるため、自然公園法に基づき、戦跡としての性格を有する我が国唯一の「沖縄戦跡国定公園」として指定されている。同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた民間人や命を落とした兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも、戦没者の遺骨収集が行われている。

このような背景を鑑みると、さきの大戦で犠牲になった人々の遺骨を含んだ土砂を埋立てに使用することは、遺族の心を傷つけるとともに、犠牲者の人々を鎮魂する行為に背くものである。

よって、本市議会は国に対し、下記の事項に取り組むよう要望する。

記

1. 悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が含まれた土砂を埋立てに使用しないこと。

2. 日本で唯一、住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に基づき、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月23日

大阪府柏原市議会



衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

令和3年第4回定例会の議決結果

議案番号	議案名	議決結果	自由民主党・無所属の会										大阪維新の会				公明党		日本共産党	個人
			山下亜緯子	乾一	大坪教孝	田中秀昭	奥山弘之	峯修広	山本和之	榊田壽恵	鶴田将良	中村保治	大木留美	新屋広子	橋本満夫	江村淳	山口由華			
議案第65号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	柏原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	柏原市立青谷運動場条例の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	令和3年度柏原市一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和3年度柏原市一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和3年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和3年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	令和3年度柏原市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	柏原市一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	柏原市一般会計補正予算（第11号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第2号	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた環境整備を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ・議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。 ・会派に属さない議員は「個人」と表記しています。
・賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」と表記しています。

令和3年度 政務活動費 収支報告書（令和3年4月分から令和3年9月分）

政務活動費は、調査研究に資する経費として条例に基づき、議員一人につき月額4万円交付されるものです。柏原市議会では透明性を確保するため、収支報告書に領収書と会計帳簿の添付を義務付けています。
※9月の議員任期満了に伴い、今号に4月分から9月分までの収支報告を掲載しています。〔単位：円〕

会 派 名		自由民主党 至誠会	維新の会	公明党	自由民主党 政新会	女性超党派 りんどう	会派に属さない議員 橋本 満夫 山本 修広	
交付額（利子含む）		960,004	920,003	720,003	480,001	480,002	240,000	40,000
支出 内訳	資 料 購 入 費	9,870	0	0	52,910	0	0	0
	広報・広聴費	0	0	0	0	0	282,700	0
支 出 額		9,870	0	0	52,910	0	282,700	0
返 還 額		950,134	920,003	720,003	427,091	480,002	0	40,000

- ・支出のあった項目のみ記載しております。
・年度途中に、会派の再編があったため、交付額に差があります。
・詳しい収支報告書につきましては、柏原市議会ホームページに掲載しています。



令和4年 第1回定例会 (予定)	月 日	会 議 名	内 容
	2月18日(金)	本 会 議	市政運営方針・議案説明
	3月10日(木)	本 会 議	市政運営方針に 対する質問
	3月11日(金)		
	3月14日(月)	本 会 議	議案に対する質疑
	3月15日(火)		
	3月17日(木)	総務産業委員会	付託議案審査
	3月22日(火)	厚生文教委員会	付託議案審査
	3月25日(金)	本 会 議	委員長報告・採決
※会議は午前10時から始まります。※会議の日程は、新型コロナウイルス感染症への対応等により変更する場合があります。			

陳 情 等

●女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書の提出を求める要望書
この陳情等は、「議長預かり」となりました。

本会議及び常任委員会の映像をインターネットでご覧いただけます。

◆YouTube
(ライブ中継・録画)
※本会議及び常任委員会

◆映像配信ウェブ
サイト(録画)
※本会議のみ